

# 新型コロナウイルス感染症 対策について

---

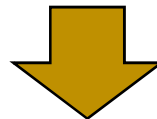
～インフルエンザとの同時流行から  
命と暮らしを守るための緊急支援～

令和2年9月18日  
相模原市

# 今回のコロナ対策のポイント

## 相模原市のコロナ対策の4つの柱

- ① コロナと向き合い、命を守るための医療体制の備え
- ② 活動再開に向けた市民や企業等への継続支援
- ③ 新しいステージに進むための地域活性化
- ④ 新しい日常の創造と持続可能な地域社会の構築



**予算額：7億6,500万円**

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、今後、秋から冬にかけて流行が想定される、季節性インフルエンザとの同時流行を防ぐなど、**市内の医療体制を維持し、市民の命と暮らしを守るために必要な緊急対策**のための予算を計上

# 命と暮らしを守るための緊急支援

## ◆インフルエンザ予防接種助成事業（新規・拡充）

【5億1,000万円】

インフルエンザの予防接種を促進することで、新型コロナウイルス感染症と臨床症状のみで鑑別することが困難なインフルエンザの同時流行及び重症化を抑制し、医療機関の負担の軽減を図ります。地方創生臨時交付金、神奈川県補助

### 【高齢者の無償化】

- ・現在、自己負担1,500円で接種可能な高齢者の自己負担額を無償化

### 【未就学児への一部助成】

- ・発熱性疾患が多く、重症疾患を見逃す可能性のある未就学児を助成対象に追加（自己負担1,500円）

## ◆医療従事者応援事業（拡充）

【1億8,000万円】

多くの医療従事者が新型コロナウイルス感染症と戦っている中で、現在実施している医療従事者への「臨時危険手当制度」等を設けた医療機関に対する予算を増額します。地方創生臨時交付金

# 命と暮らしを守るための緊急支援

## ◆妊婦特別給付金事業（拡充） 【7,300万円】

不安を抱えながら生活している妊婦が安心して出産できるよう、それぞれの状況に合わせて活用してもらうことを目的に、活動自粛期間を対象に実施している給付金の対象期間を延長します。 地方創生臨時交付金

【支給額】 1人3万円

【対象期間】（現在）令和2年4月7日から令和2年5月25日まで  
（拡充）令和2年4月7日から令和3年3月31日まで

## ◆福祉従事者メンタルヘルス相談事業（新規） 【200万円】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大時においても、事業を継続している介護サービス事業所、障害サービス事業所、保育所等の職員に対し、精神的負担の軽減を図るため、メンタルヘルス相談窓口を設置します。

地方創生臨時交付金